

令和6年度 学校園評価(関係者評価)シート

(様式2)

加古川市立志方中学校

1 教育目標

人の心がわかる あたたかみのある人づくり

2 基本方針

人権尊重の学校文化を築き、主体的に学び、思いやりのある、心身ともに健やかな生徒を育成する

3 指導目標

- (1)「確かな学力」を培う (2)「健やかな体」を養う (3)「豊かな心」を育てる (4)適切な進路選択と継続した指導の充実
 (5)特別な支援や配慮を要する子どもへの教育の推進 (6)組織的な運営体制の確立 (7)教員の資質向上をはかる
 (8)学校・家庭・地域との連携の強化

達成状況の評価基準 A:できている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
学習指導の充実	主体的・対話的で深い学びの視点を持った授業への改善	A	協同的探究学習の授業実践等を今後も推進し、研修や研究授業も積極的に行う。また、学校全体で生徒に向き合う風土を大切に、個に応じたきめ細かな指導も引き続き行っていく。	研究会や研究大会などを複数回実施し、協同的探究学習の授業実践など主体的・対話的で深い学びの授業改善に取り組んでいることがよく分かった。学校全体で生徒に向き合う風土を大切に、個に応じたきめ細かな指導や個別最適な学習にも引き続き取り組んでほしい。	A
道德教育の深化 人権教育の充実	いじめや不合理を許さない心の育成	B	全ての教育活動において、道德的感覚や人権感覚を養えるよう取り組んではいるが、若手教員が増え、道德や人権学習の指導方法についての悩みもあるので、ベテラン教員から道德授業の手法を伝えたり、一緒になって指導案の検討を行う機会を増やし、よりよい授業展開ができるようにしていきたい。	教育目標にもあるように、学校全体で人権を大切にする風土があり、全ての教育活動において、道德的感覚や人権感覚を養える取り組みを行っている。若手教員も自信を持って道德や人権学習を実践できるように、研修などの機会を増やし、さらなる向上につなげてほしい。	A
生徒指導の推進	内面的理解を基盤に、心にひびく指導と教育相談の充実	A	普段からの生徒への言葉がけに気をつけ、傾聴の姿勢を大切にし、生徒とのコミュニケーションを図る。また、アセス等を活用し、生徒に寄り添った教育相談体制づくりに継続して取り組む。	学校教育全体において、生徒への言葉がけや傾聴の姿勢を大切にするなど、生徒に寄り添った生徒指導や教育相談の体制づくりに、継続して取り組んでほしい。	A
地域に開かれた 学校づくりの推進	学校運営協議会を中心とした、家庭・地域との連携の強化	A	情報発信を効果的に行い、家庭や地域との協力的体制づくりを促進していく。また、家庭・地域・学校運営協議会との連携を図り、地域ぐるみの学校運営体制を引き続き拡充させる。	情報発信をいろいろな方法で行っていることが分かった。家庭・地域・学校運営協議会とも連携し、意見や情報をうまく取り入れて地域ぐるみでの学校運営体制づくりに協力したい。また、交通ルールを守るよう、学校だけでなく地域でも呼びかけていきたい。	A